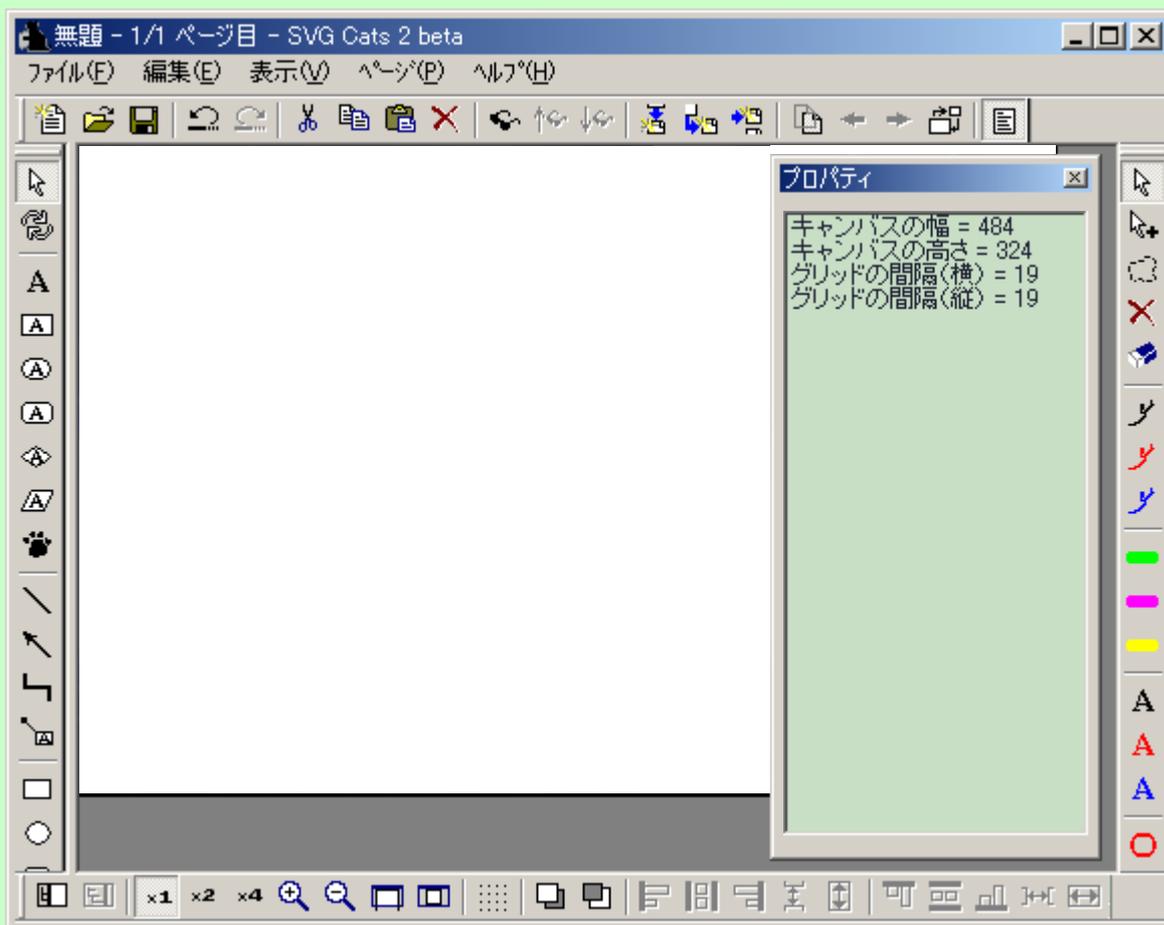


SVG Cats を付箋紙として使うには

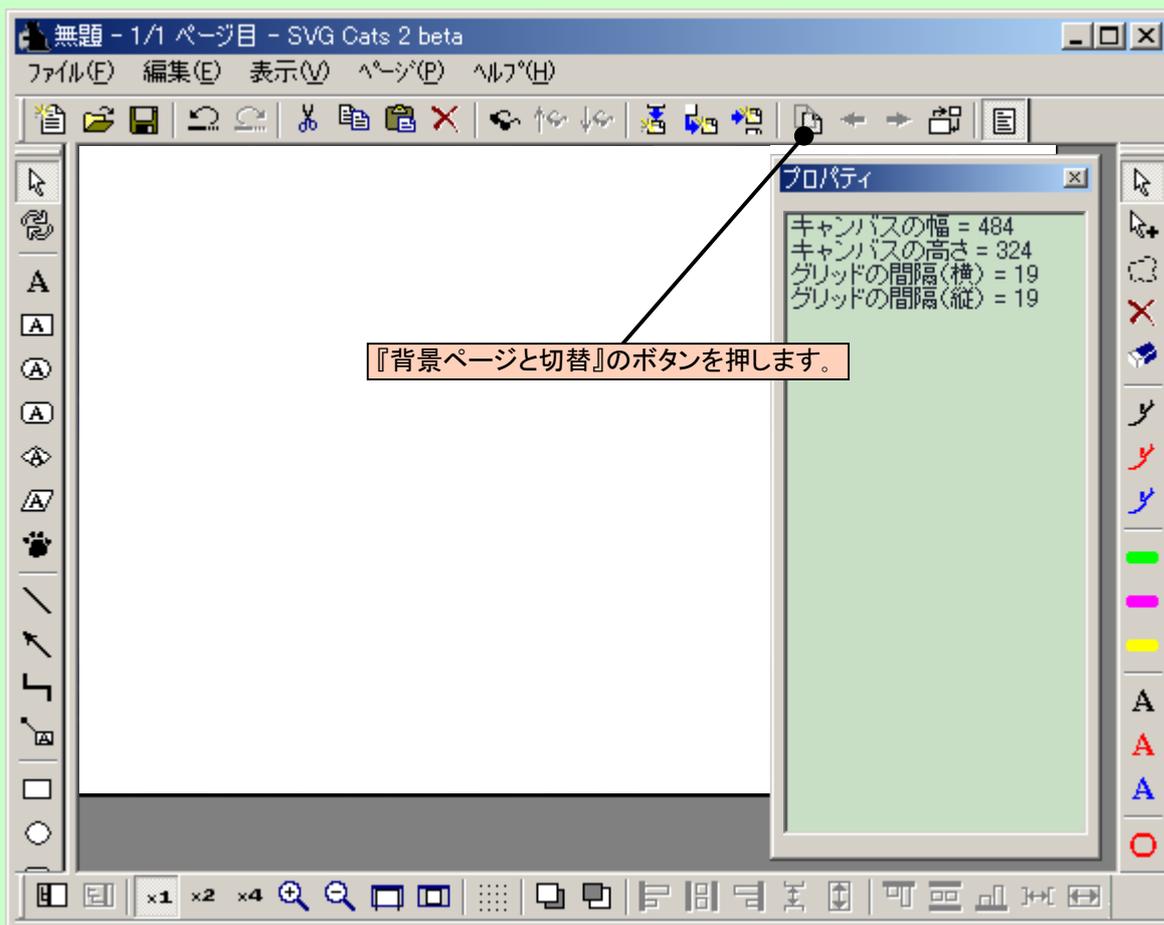


まず、SVG Cats の付箋紙に対応した壁紙を作成していきます。
svgcats.exe をダブルクリックして SVG Cats を起動します。

[>> 実用編へ](#)

[<Back](#) [Next>](#)

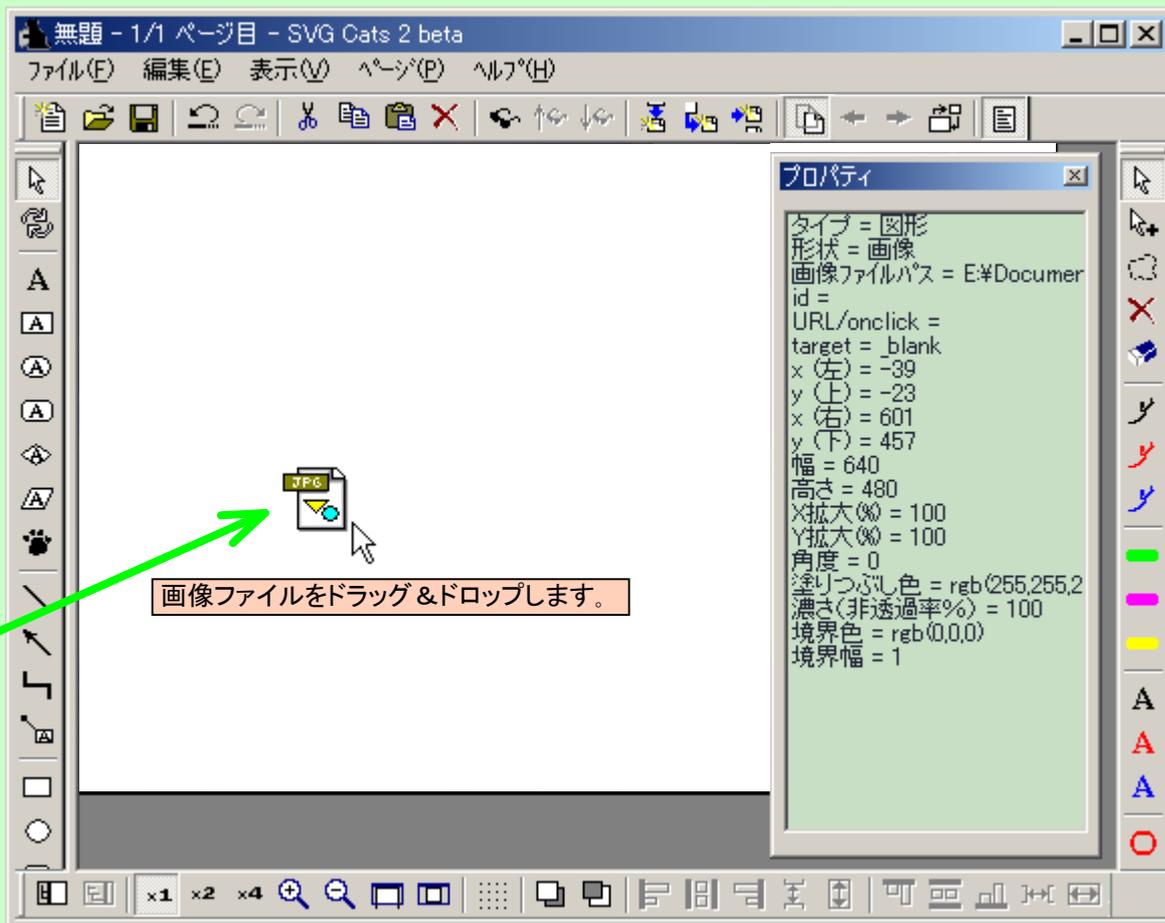
SVG Cats を付箋紙として使うには



『背景ページと切替』のボタンを押します。
このボタンがへこんでいるときは、背景編集モードになります。

[<Back](#) [Next>](#)

SVG Cats を付箋紙として使うには



背景グラフィック・ファイルを SVG Cats にドラッグ & ドロップします。
すると、画像が表示されます。

(BMP形式には対応していません。JPEG や PNG 形式に変更してください。)

[<Back](#) [Next>](#)

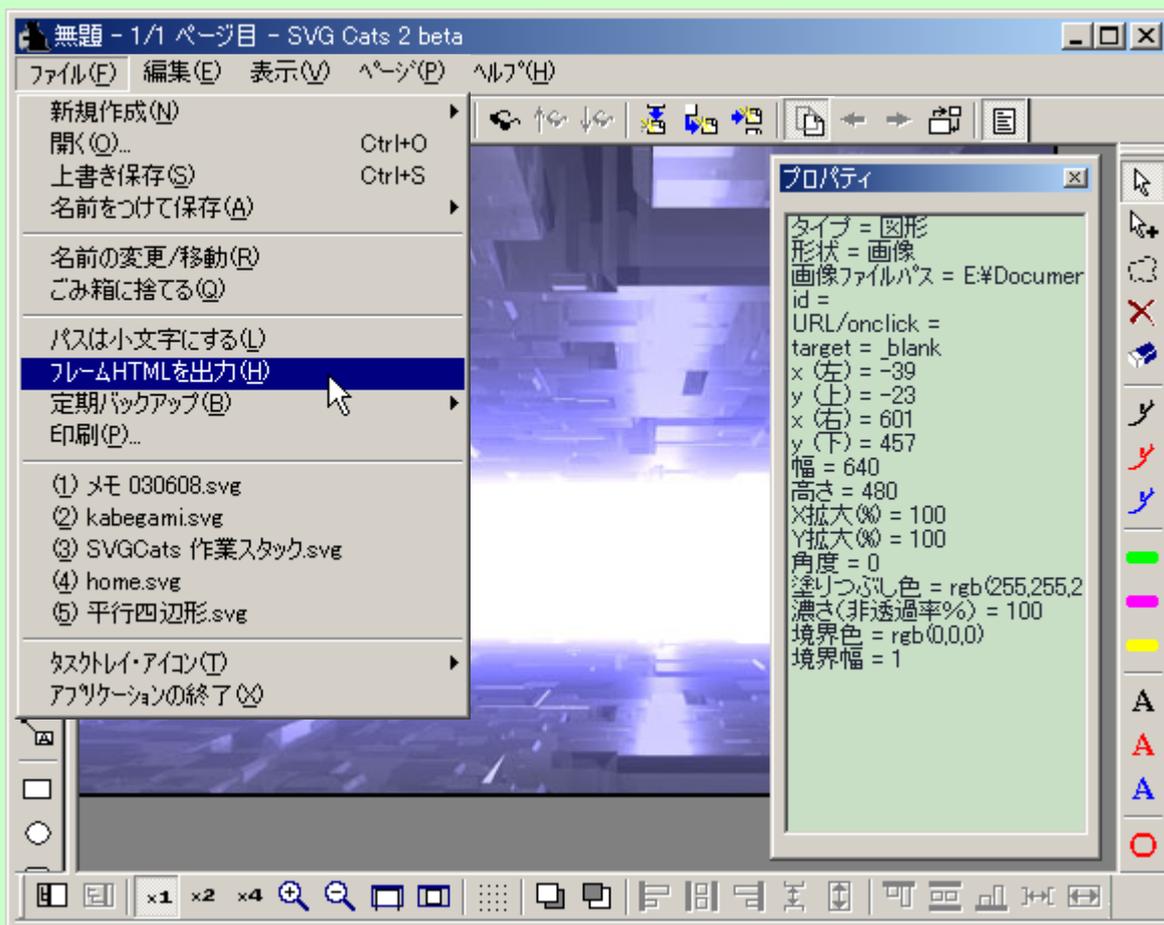
SVG Cats を付箋紙として使うには



SVGファイルを保存します。

<Back Next>

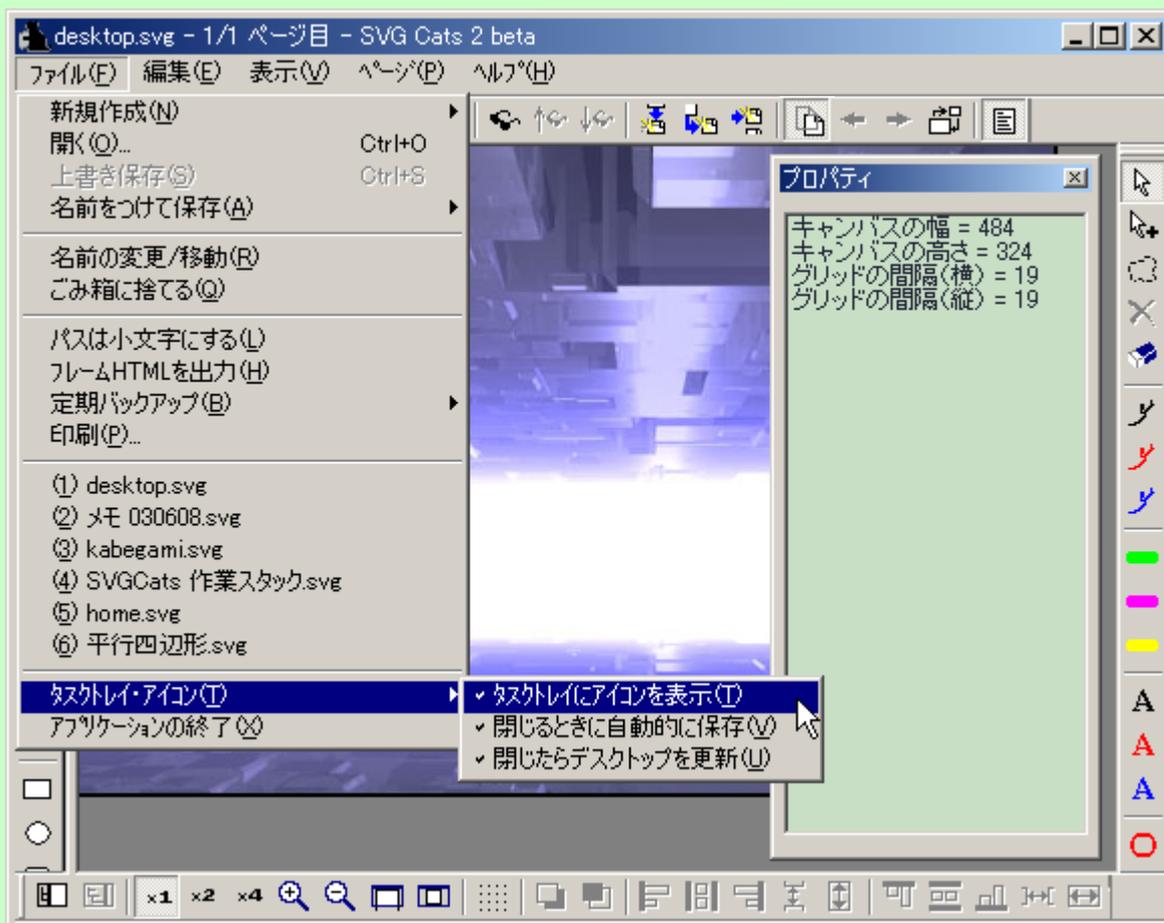
SVG Cats を付箋紙として使うには



フレーム HTML を出力します。
ページ切替ボタンは付けないようにします。

<Back Next>

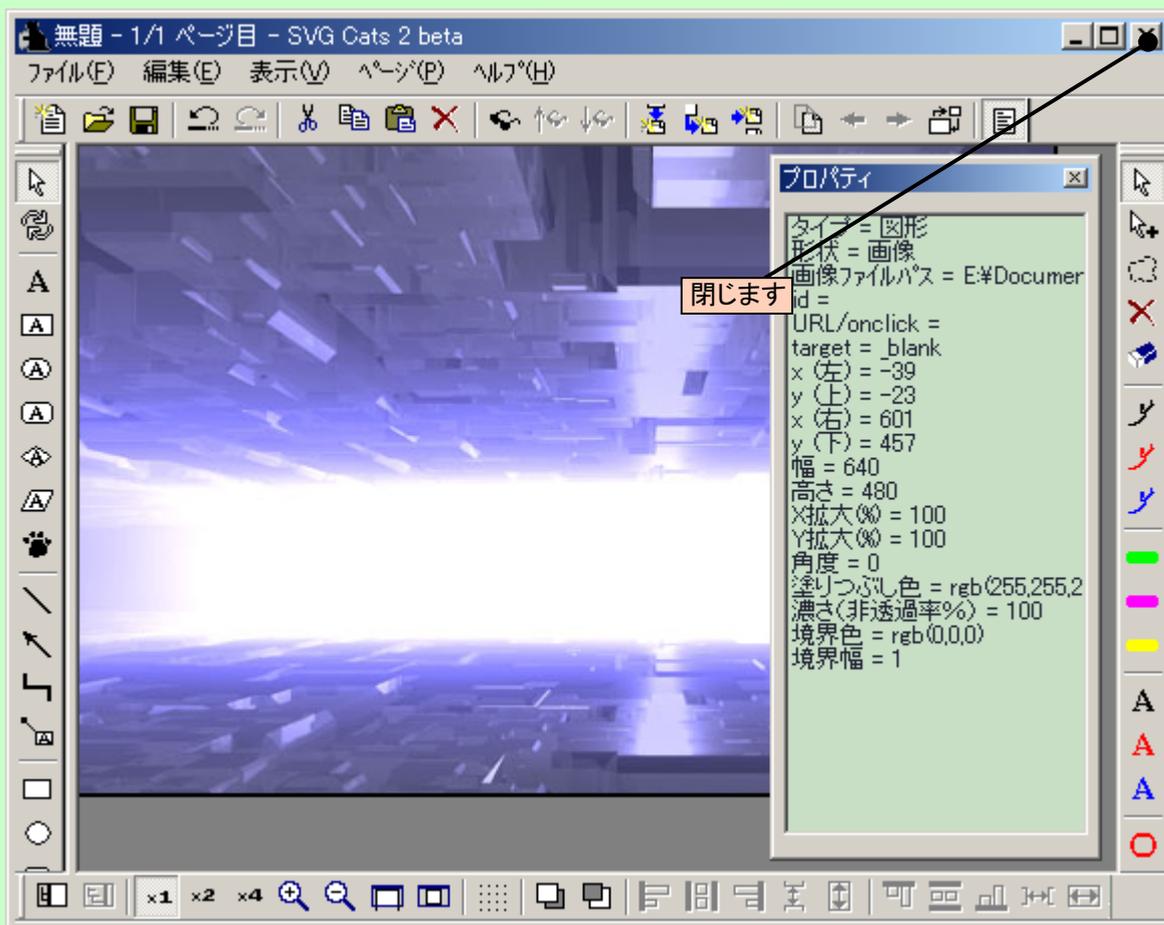
SVG Cats を付箋紙として使うには



タスクトレイ・アイコンのサブメニューの全てにチェックを入れます。

<Back Next>

SVG Cats を付箋紙として使うには



ウィンドウを閉じます。

<Back Next>

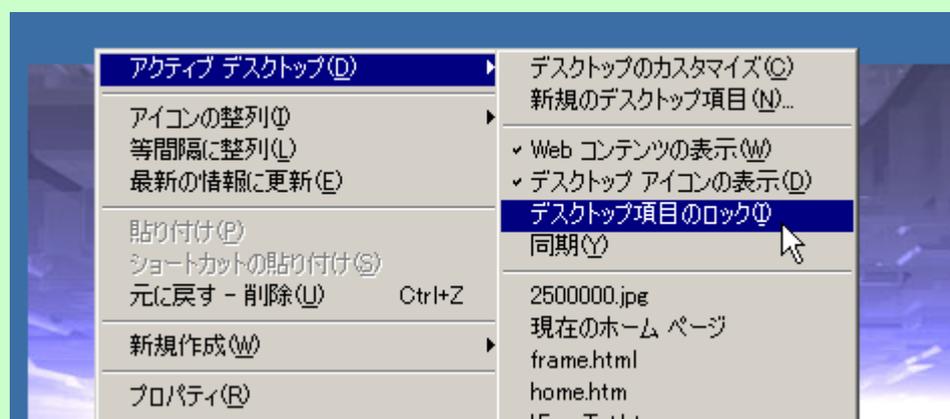
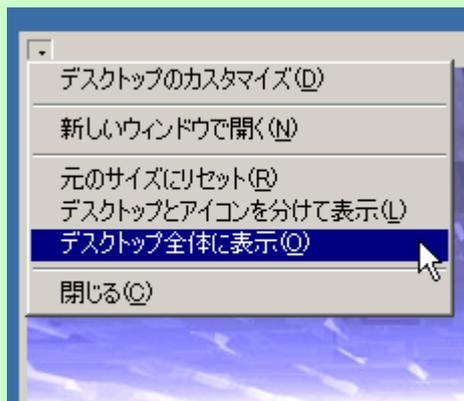
SVG Cats を付箋紙として使うには



作成した HTML ファイルを Internet Explorer で開きます。
そして、ウィンドウの左上のアイコンをデスクトップに右ドラッグし、
Active Desktop 項目を作成します。

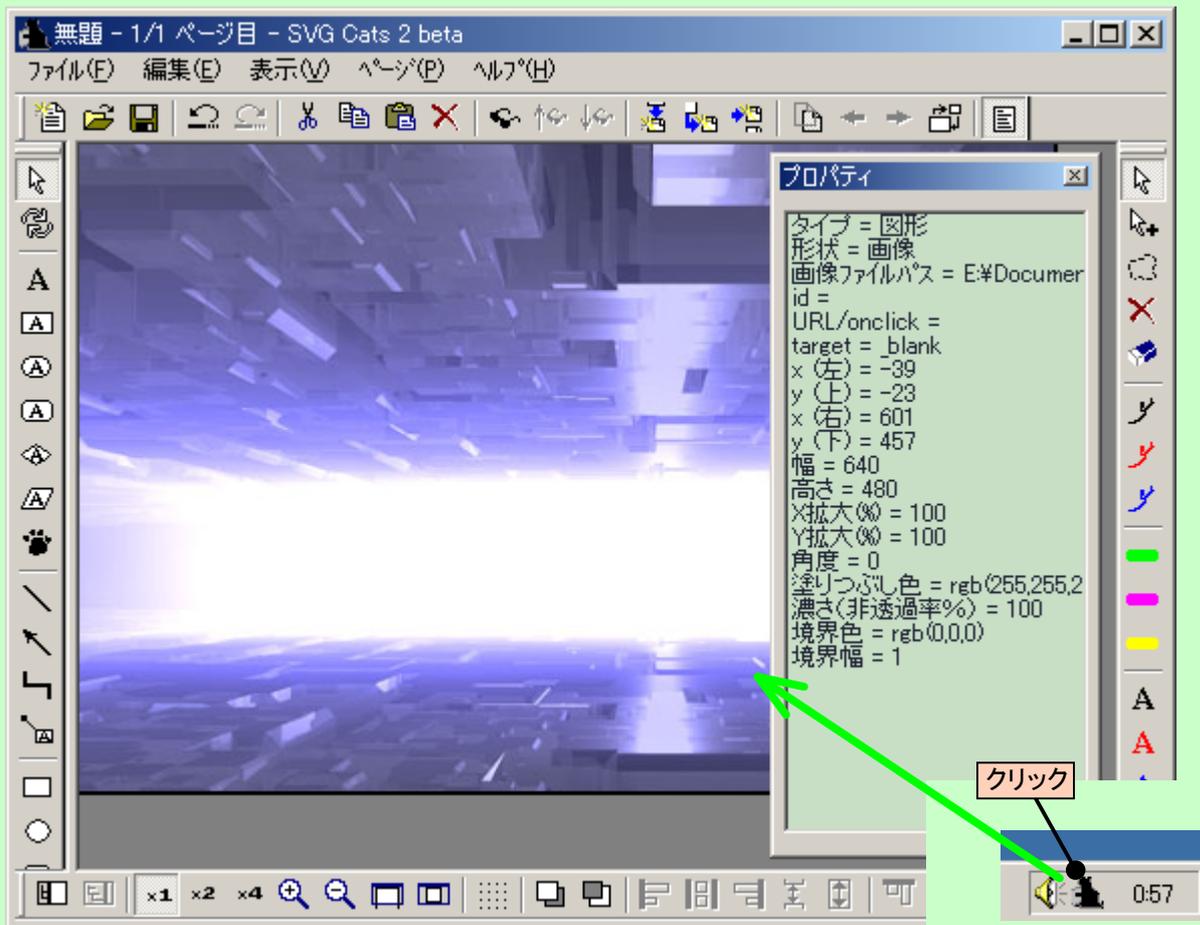
<Back Next>

SVG Cats を付箋紙として使うには



デスクトップ項目のサイズを調節します。背景グラフィックが画面全体のときは、「デスクトップ全体に表示」、または、「デスクトップとアイコンを分けて表示」を選択します。配置を決めたら、デスクトップを右クリックして、「デスクトップ項目のロック」にチェックを入れます。以上で準備完了です。 <Back Next>

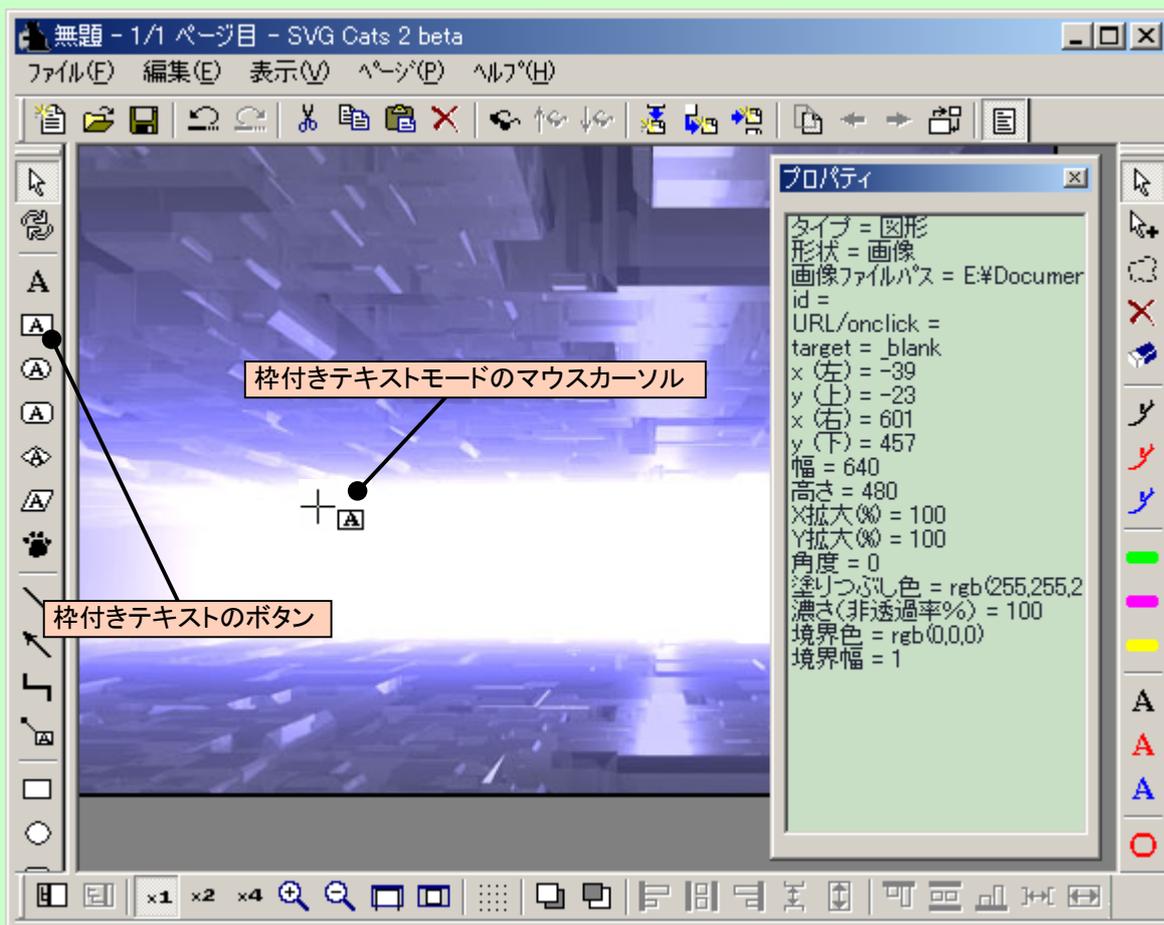
SVG Cats を付箋紙として使うには



ここからが、実用編です。
付箋紙を作成するときは、タスクトレイにある黒猫アイコンをクリックして SVG Cats を開きます。

[<Back](#) [Next>](#)

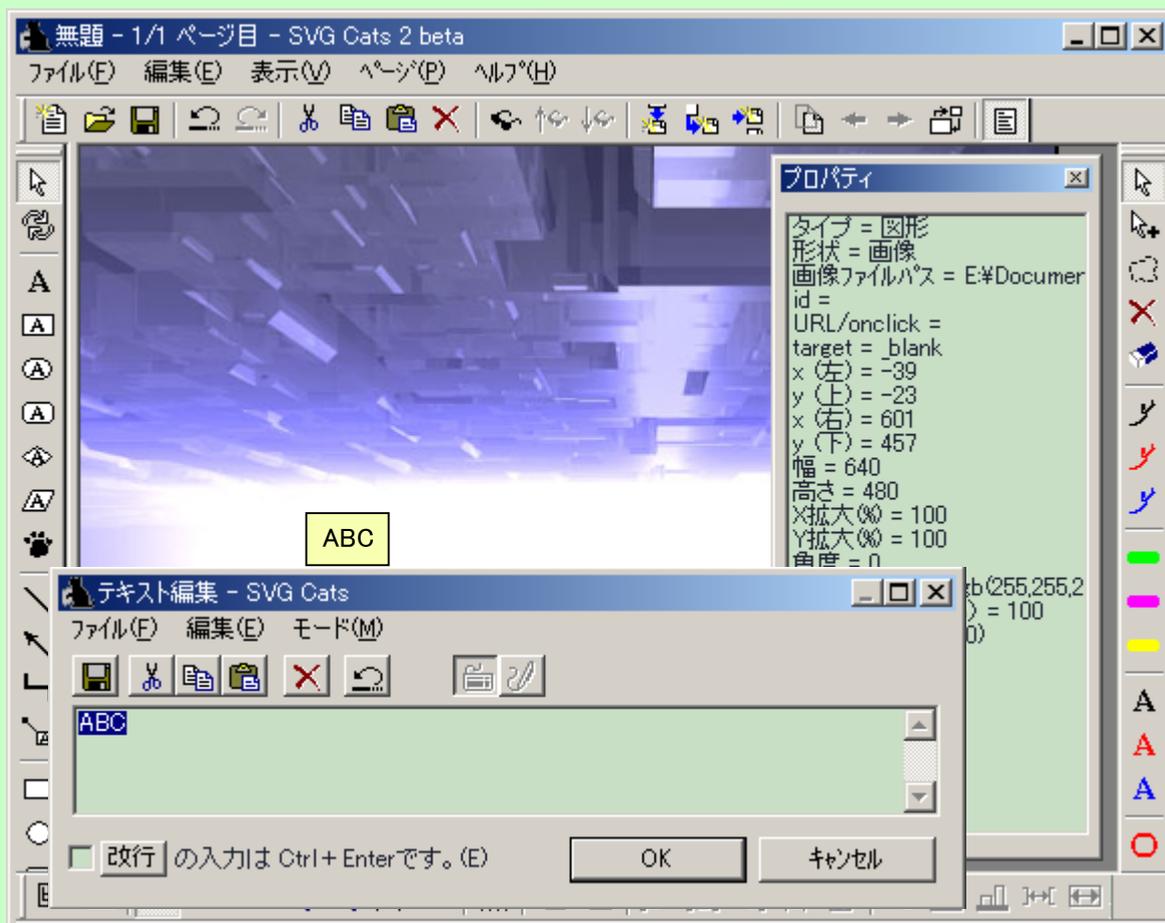
SVG Cats を付箋紙として使うには



付箋紙を張りたい場所をクリックします。
ただし、枠付きテキストモードでないときは、枠付きテキストのボタンをクリックしてから、付箋紙を張りたい場所をクリックします。

<Back Next>

SVG Cats を付箋紙として使うには



付箋紙の内容を入力します。

<Back Next>

SVG Cats を付箋紙として使うには



付箋紙の編集を終了したら、SVG Cats を閉じます。
閉じたら、自動的にデスクトップの内容は更新されます。

<Back Next>

SVG Cats を付箋紙として使うには



ペンモードにして手書きで壁紙にメモすることもできます。
(終了)

<<Top <Back Next>